

2024年 3月 6日

## 2023年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人子育て応援団そらいろのたね

代表者 理事長 山口圭子

## ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

## 1. 助成プロジェクト名

ママと子どものおうちカフェ

## 2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

子どもの育ちをサポートし、子育て中の母親を支援することで、子育て世代が暮らしやすい地域コミュニティづくりを目的に2002年3月に設立。子育てひろばの開催、子育て支援講座の企画運営、訪問型子育て支援、一時保育などの活動を継続している。2009年6月NPO法人格取得。

## 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

アレルギーの増加や放射能の影響への不安、食の安全に影響する環境の変化などから、子どもの健康を守る食事への関心が高まっている。子育ての先輩であるサポーターが協力して、数組の母子が気軽にランチを楽しむ会を実家に帰ってホッとできるような場を作ることにより、子育てひろばの新たな可能性を開くことをめざした。

## 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

住居内で開く、気軽なランチの会を柱とする子育てひろば。実家のようなくつろげる環境で、数組の母子とサポーターと一緒に昼食を作って食べることをとおして、食と子育てを語り合い、食の楽しみ&わらべうた遊びや絵本の読み聞かせなど親子で遊ぶ楽しみを広げる場作り。季節の食材を使い、子どもが健康に育つ食について考える場、地域の仲間づくりの拠点となることをめざす。

## 5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

7月から2月まで(8月を除く)の毎月1回、のべ7回実施した。7月にスタートした当初から定員を上回る参加申し込みの連絡が入り、キャンセル待ちが出る状況が続いた。7回の実施で32組(大人34名、0歳、1歳の子ども32名)が参加。今年度は初めて育休中のお父さんの参加があった。10月に地域情報紙「もしもし」の取材を受け、多摩ニュータウン全域に配布され、多くの方に関心を持っていただいた。

## 6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

長く続いたコロナ禍のマスク生活や行動制限の影響で大人も子どもも免疫力が低下して、様々な感染症が季節を問わず発生、流行して、乳幼児が当日の朝発熱して当日キャンセルとなることが数回あった。子どもの育ちを支える食の大切さ、いっしょに調理する楽しみ、おいしく食べて、皆で楽しい時間を過ごす場を継続していきたい。絵本やわらべうた遊びなどを通じて心とからだを育てることを伝え続けていきたい。

## 7. 参考資料:プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、「必ず」、別途、ご提供ください

